

# 令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

台東区立桜橋中学校

	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値に気付き、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。</li> <li>・根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙や知識の基礎的な定着</li> <li>・話すこと、聞くことにおける適切な表現を使用できるようにする力</li> <li>・構成を工夫して相手に伝わりやすい文章を作成する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の小テストを増やし、日常的に使う漢字がすぐに出てくるようにする。</li> <li>・ICTを活用し、自分の意見を出しやすくする場を増やす。</li> <li>・文章の書き方について、根拠を明確にするための事実やデータの適切な取り入れ方の指導に注力する。</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の部首や成り立ちなど、我が国の言語文化に関する知識や技能。</li> <li>・話の構成を工夫して話すことや聞き取ること。</li> <li>・自分の考えを相手に伝わりやすいように工夫して書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語文化に関する基礎的な知識や技能の習得</li> <li>・相手や場面に応じて、順序立てて話す力</li> <li>・話の方向性を捉えて聞き取る力</li> <li>・構成を工夫して自分の考えを表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字小テストの際に、部首や成り立ちに触れるなど、弾力的に指導する。</li> <li>・語彙の獲得を目指し、適宜図書室（調べ学習・辞書）を活用する。</li> <li>・ふせんやICTを活用し、構成を工夫して話す機会の充実を図る。</li> <li>・双括型や尾括型などの「型」を意識した書き方を習得させる。</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・類義語や対義語、慣用句など、我が国の言語文化に関する知識や技能。</li> <li>・説明的な文章において、筆者の主張を的確に読み取ること。</li> <li>・構成を工夫して、相手に伝わりやすい文章を書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言い換えの語彙、慣用句などの知識を活用する力</li> <li>・文章の中心となる内容を読み取る力</li> <li>・印象的な構成や効果的な表現を用いて自分の考えを豊かに表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言い換えの表現を紹介したり、自主的に調べたりする活動の場を設定する。</li> <li>・繰り返し出てくるキーワードや言い換えの表現に線を引くことを再度指導する。</li> <li>・ふせんやICTを活用し、構成を工夫して考えを伝える表現の活動を充実させる。</li> </ul>